

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年01月31日

計画の名称	避難体制を強化する道路整備による事前防災対策（原発避難路、桜島火山対策）													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）							重点配分対象の該当						
交付対象	鹿児島県													
計画の目標	川内原子力発電所や桜島火山噴火等に係る事前防災対策による道路の整備を推進し、避難経路であるICや避難港へのアクセス強化等を図り、緊急時の際の速やかな避難体制等を確立するとともに、安心・安全な地域社会の形成を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		6,057	A	6,057	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初	H28末	H30末
1	・避難道路の走行時間短縮率を3.5%（H28末2.4%）向上させる。 道路整備により走行速度向上による、走行時間の短縮率を算出する。 走行時間短縮率（%）＝道路改良により短縮された時間（h）÷現在の走行時間（h）	0%	2%	4%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-
・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-1, 2, 3, 4, 5, 6, 8・薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-5, 6, 11・鹿屋市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-8, 9								

A 基幹事業																					
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 桜島港黒神線 宇 土工区	バイパス L=0.9km	鹿児島市	■	■	■			106		—		
	A01-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 桜島港黒神線 西 道土工区	現道拡幅 L=0.5km	鹿児島市	■					0		—		
	A01-003	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 桜島港黒神線 武 土工区	現道拡幅 L=0.9km	鹿児島市	■					0		—		
A01-004	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 川内串木野線 荒 川土工区	バイパス L=1.4km	いちき串木野市	■					50		—			
H27からP14へ移行																					
A01-005	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 川内串木野線 宮 里土工区	現道拡幅 L=0.6km	薩摩川内市	■	■	■			258		—			
A01-006	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 川内串木野線 高 江長崎工区	現道拡幅 L=3.1km	薩摩川内市	■	■	■	■	■	928		—			

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-007	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(主) 垂水大崎線 牛根 上工区	現道拡幅 L=0.7km	垂水市	■	■	■	■	■	345		—	
	A01-008	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 269号 伊座敷 バイパス	バイパス L=2.9km	南大隅町		■	■	■	■	3,184		—	
	A01-009	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 辺塚根占線 横別 府工区	現道拡幅 L=1.8km	南大隅町				■	■	220		—	
	A01-010	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 脇本赤瀬川線 嶋 之浦工区	現道拡幅 L=0.7km	阿久根市					■	40		—	
	A01-011	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 百次木場茶屋線 川永野工区	現道拡幅 L=1.3km	薩摩川内市					■	50		—	
	A01-012	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	交安	(国) 504号 紫尾道 路	安全施設 L=3.4km	出水市					■	200		—	

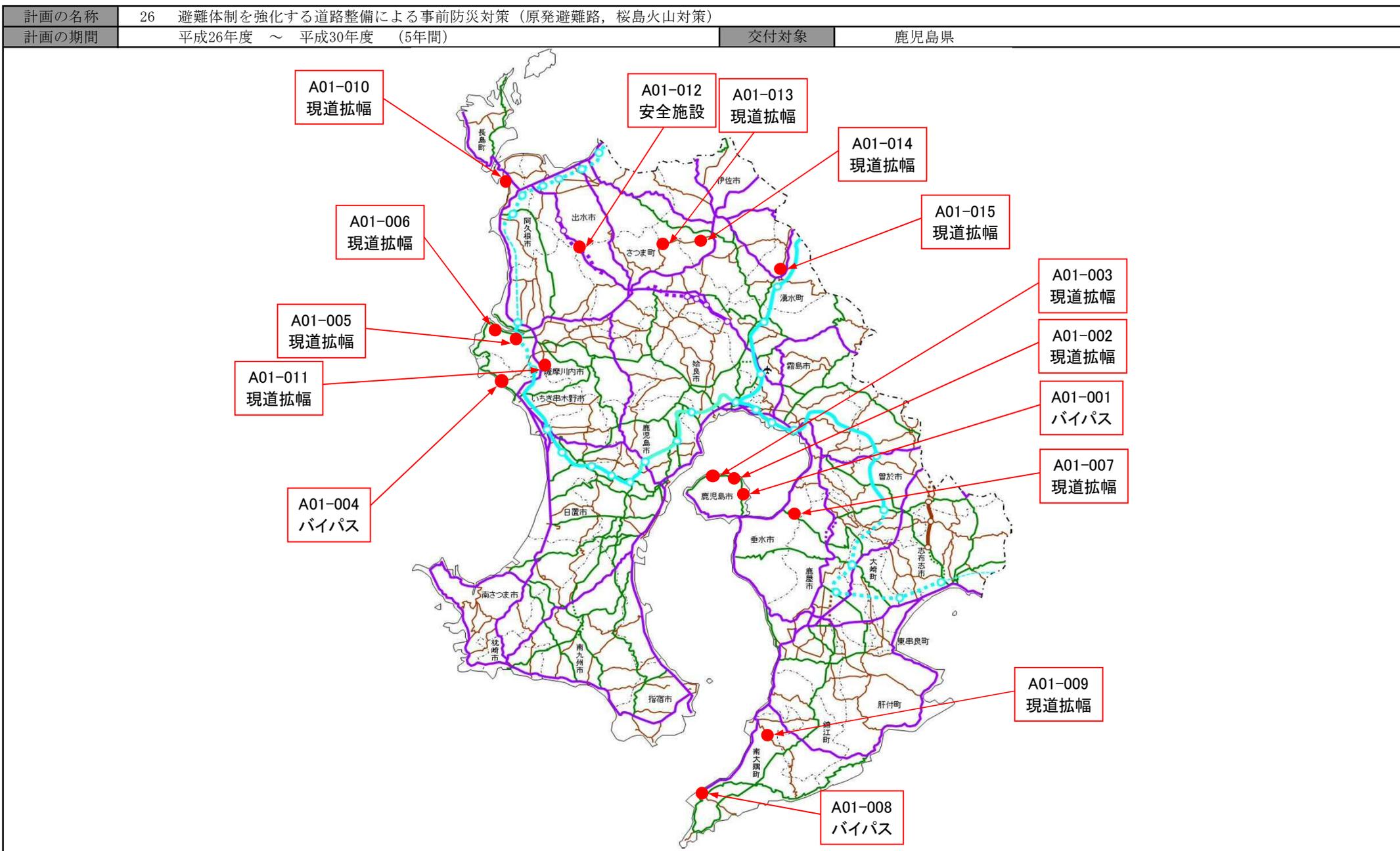
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-013	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 鶴田大口線 大鶴 湖工区	現道拡幅 L=7.1km	薩摩郡さつま町					■	277	—	
	A01-014	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 鶴田大口線 曾木 2工区	現道拡幅 L=3.6km	伊佐市					■	219	—	
	A01-015	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	(一) 木場吉松えびの線 北方工区	現道拡幅 L=4.3km	始良郡湧水町					■	180	—	
											小計						6,057		
											合計						6,057		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	260.247	1,298.516	1,020.025	1,222.100	
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000	0.000	0.000	
交付額 (c=a+b)	260.247	1,298.516	1,020.025	1,222.100	
前年度からの繰越額 (d)	0.000	50.155	818.724	444.940	
支払済額 (e)	210.092	529.947	1,393.809	1,179.875	
翌年度繰越額 (f)	50.155	818.724	444.940	487.165	
うち未契約繰越額 (g)	2.067	0.000	68.684	487.165	
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.8%	0.0%	3.7%	29.2%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	他工区との調整 に時間を要した ため	

(参考様式3) 参考図面



事前評価チェックシート

計画の名称： 避難体制を強化する道路整備による事前防災対策（原発避難路、桜島火山対策）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が見込める。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地域の協力が見込める。	○
III. 計画の実現可能性 関連する地方公共団体等との調整が図られている。	○